

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
 「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広報誌

よりそ^う

vol. 34

病院ヘリポート、運用開始。



医療の地域格差をなくし、
 より広域の場所から傷病者の受入れを





防災ヘリ・ドクターへリ安全研修会実施

「24時間オープン、断らない医療」を理念にかけ、当院の月間救急車受入実績は700件近くになっています。より広域の場所から急患の受入れができるよう、新病院の屋上にはヘリポートを設置。その本格運用に向け、宮城県ドクターへリ、宮城県防災航空隊、仙台消防航空隊合同で安全研修会を実施致しました。

医師や看護師、多職種の職員60名近くが参加し、山岳遭難や水難事故などで救助に向かう消防航空隊の活動について理解を深め、救助者を受入れする際の連携活動について、図上訓練を実施。別の日には泉ヶ岳で山岳遭難事故が発生したとの想定で、通報から出動、救助、引き継ぎまでの流れを実際の防災ヘリに当院の看護師と医師も同乗し患者搬送を行いました。防災ヘリ内部の広さや、救急車との資機材の違いなど、救急要請に備えるべく念入りに確認しました。

訓練想定



【転院搬送①】〇〇病院 ⇒ 仙台徳洲会病院

【転院搬送②】仙台徳洲会病院 ⇒ 〇〇病院

【山岳救助】泉ヶ岳 ⇒ 仙台徳洲会病院





患者さんとの接触を一刻も早く

ドクターヘリは基本的に医師、看護師、整備士、パイロットの4名が乗り、予備席にもう1名が乗れるようになっています。飛行速度は約230km/h。競技場などの広い場所（ランデブーポイント）に着陸し、患者さんを乗せて待機している救急車で診察することになります。エコーを行ったり心電図を見たりなど、患者さんの対応を行うと同時に搬送する病院を選定します。仙台徳洲会病院は新病院開院後、その搬送先医療機関としての実運用に向け、宮城県ドクターヘリ側と連携体制を整備してまいりました。そしていよいよ実働開始です。

ドクターヘリ受入れに際し、救急外来だけが把握してあればいいわけではなく、屋上の飛散物などの安全確認や救急外来までの動線確保など、受入れから医師への接触までを速やかにできるよう、多職種と連携した院内体制を充実させ、地域の皆様が安心して救急医療を受けられる基幹病院としての使命を果たしてまいります。



最新機器導入レポート

核医学検査 RI

病院にはレントゲン、CT、MRI、超音波、X線透視などなんとなく思い浮かべることのできる検査機器がありますが、核医学やRI検査は聞いてもあまりピンとこないのでないでしょうか？他の検査に比べて受けたことがある人も少ないのでし、核というだけで恐怖心を持つてしまう人もいるようですので、今回は謎に包まれた核医学・RI検査について紹介をしていきます。



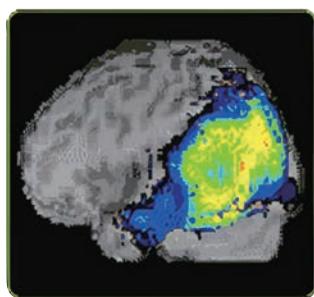
SIMENS社製 Symbia Evo Excel
柔軟で高画質、
優しいコンパクトデザインのガンマカメラ

Symbia Evo Excelは2検出器を備えたガンマカメラで、高解像度・高感度な核医学検査を提供します。さまざまな放射性医薬品を利用する機能として、高性能な画像再構成・解析ソフトウェアを有し、的確な診断を担う機器になります。

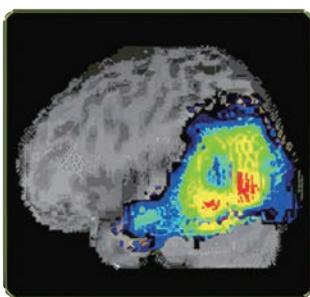
コンパクトな機器、寝台の設計のため患者様の負担も軽減され快適に検査を受けていただくことが可能になります。

アルツハイマー型認知症の場合

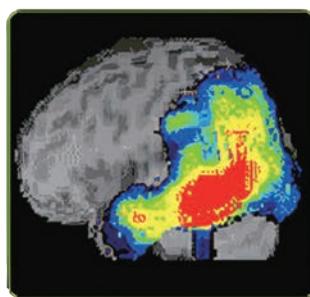
脳の血流が低下している部分を映したもの（画像統計解析）



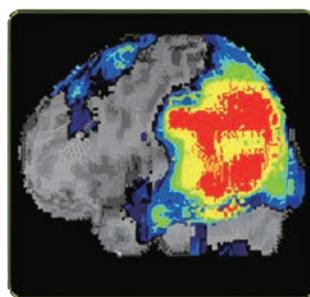
軽度認知障害 (MCI)



軽 度



中等度



重 度

RIとはラジオアイソトープの事。 ラジオアイソトープとは放射線を放出する元素の事。

放射線を出す物質のことをRI（放射性同位体）といい、RI検査＝核医学検査となります。RIことラジオアイソトープをどのようにして検査に使うかということですが、放射性医薬品といってRIが入った薬を患者さんの体内に静脈注射、経口投与、口や鼻から吸入します。体内に投与された放射性医薬品はどうなるのかというと、それぞれ薬の性質によって体内の臓器や骨に移動していきます。

これだけ聞くと何とも恐ろしいですが、放射線の量は極々少なくて、健康に影響を与えることは無いので安心して下さい。

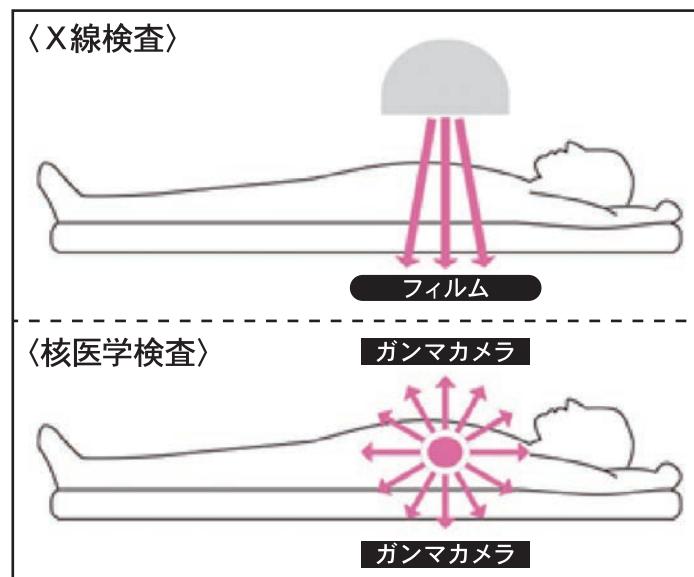
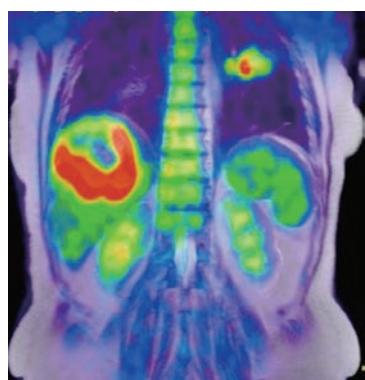
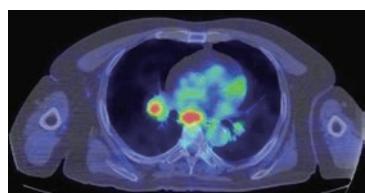
また、放射線の量自体も時間と共に減少し、体外へ尿や便として放出されます。体内に投与された本人にすら悪影響は発生しないので、外出を制限されたり人と接することを禁じられたりすることはありません。

※RIを使った治療目的（バセドウ病や甲状腺癌の治療にヨウ素131を使用）の場合は、異なります。また、次のような方はあらかじめ医師にお知らせください。

- ・妊娠中、または妊娠している可能性がある女性
- ・授乳中の女性
- ・乳幼児がいる女性

画像化する

放射性医薬品を投与したのなら後は、画像化するだけですが、どのように画像化するかというと、SPECT（スペクト）という装置で放射線を検出します。当院に導入したガンマカメラは、高感度の検出器を備え従来より短時間での収集（撮影）が可能になりました。高性能な画像処理、解析ソフトウェアを有し的確な診断を担う機器になります。また、機器や寝台ともコンパクト設計のため患者様の負担も軽減され快適に検査を受けていただけます。



看護部 ～救護応援レポ～

第27回 国際車いすテニス大会

仙台オープン2022



シェルコム仙台で4日間にわたり行われた、第27回 国際車いすテニス大会「仙台オープン2022」では、新型コロナで大会自体が延期になっていた期間も練習に励み、大会に合わせてコンディションを整えてきた選手たちが、最高のパフォーマンスを発揮できるよう看護師達が、“救護”というかたちで応援させて頂きました。コロナの影響で思うように練習や試合がこなせなかつた時間を取り戻すかのような迫力あるプレーでパワーをもらい、たくさんのボランティアや学生さんも運営に参加していて、共に大会を盛り上げる姿に元気を頂きました。



よみがえる風景、元気な声

第40回 泉区民ふるさとまつり



新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続中止となっていた「泉区民ふるさとまつり」。今年は花火大会を行わないなど、規模を縮小した形で開催され、救護ブースでは看護師の大沼さんが1日常駐しました。雨が降ったり止んだりの天気のもと、家族連れなど多くの来場者で賑わい、救護ブースに来られる方々も大半は小さなお子様で、転んでできたり傷や、虫さされなどが主で、幸いにも救急搬送するような傷病人が運ばれてくるような事案もなく、無事に終了しました。これからも、地域の行事などを通じて貢献してまいります。



News

夢幻泡影



文：広報担当者

宮城県美術館で開催された、特別展「ポンペイ」を見てきました。西暦79年に火山によって灰に埋まったイタリアナポリのほど近い都市、ポンペイの遺跡から出土された品々が展示されていて、比較的並ばずにすんなり入れました。

美術館には、生まれてはじめて来たので、いわゆる「暗黙の了解」的なしきたりがわからずドキドキ。シーンとしている中で注意されるのも恥ずかしいので、とりあえず前の人について行こうを決め、いざ入館。像だの生活道具だの壁画がズラーと並んでおりました。前に並ばれた方は、一品ずつじっくり見ていくタイプだったので、しばらく私もそうしてましたが、「ダメだ…。しんどい…。」興味の湧かない骨董品をじっくり見る事に限界を感じ、おそるおそる列からはみ出し興味をそそった品々を見ていいのか係員に尋ねると、「あ、どうぞ。いいんですよ。」との事。何だ最初からそうしてあけば良かった。というわけで、生活道具コーナーはすっ飛ばし壁画コーナーに移動。写真撮影もオールOKだとの事で、パシヤパシヤ。「番犬注意」のモザイク画などの壁画は、とにかく緻密で素晴らしいし、イヤリングもネックレスもお店で売っているものとは違い、おもわず贈りたくなる素敵なデザインでした。その他にも数千年前の灰の中から出土した物とは思えないぐらいの調理器具や手術道具なども展示されていましたが、どちらかというと発掘した人達がすごい。どうやら昔の人も、都市が埋まっている事にはうっすら感じていたようですが、技術が乏しかったのか興味が無かったのか、長い間放置されていたようで、スコップで穴を掘ると何か出てくるぞーぐらいだったようです。ちなみに豊臣秀吉時代の大坂城も徳川家康によって天守閣まですっぽり埋められました。昔の天下取り争いの執念はすごいですね。なので、今の大阪城は、再建する時に豊臣派と徳川派の意見がぶつかった事で、豊臣城と徳川城のいいとこどりのハイブリッド城になっているそうです。何はともあれ、時を経ても装飾品や美術品は鑑賞できますが、その日に送っていたであろう日常と、大切な人への思いだったり、抱いていた夢は戻ってこないので、今の瞬間を一生懸命大切にしようと思った次第です。

その後、1階の常設展もポンペイ券で入場できたので、聞いた事も見た事も無い絵達を見ていたら、「尾崎豊 作～失われた土地」という作品が目に留まりました。あの若くして亡くなった歌手の尾崎豊の絵が宮城県にある事に驚き、「来て良かった。やっぱりオザキはすごいなー。」と見入っていたら、「1952年作」というプレートが。あれ、尾崎豊はそんなに昔の人ではないぞ。斎藤由貴と噂になつたぐらいだから…。よくよくプレートを見たら、「尾藤豊」。…ビトウ ユタカ?…だれだ…?誰が描いたかによって感動を左右される程度の絵心しかない無知な私には、美術館はまだ早かったようです。



仙台白百合女子大学の学生さんが来院～強い意志と心をこめて

シトラスリボンプロジェクトって ご存じですか？

新型コロナウイルスが蔓延し、感染拡大防止の観点から様々な行事が中止や延期を余儀なくされました。

当院の発熱外来にも大勢の患者様が来院され、連日多職種総出で対応にあたっています。

そんな中、仙台白百合女子大学の学生さん（右写真：左からお二人）が「シトラスリボンプロジェクト～コロナ差別を無くそう」と来院され、佐野憲病院長と佐藤裕恵看護部長が、心を込めて製作された全職員分のシトラスリボンを頂戴しました。

閉塞感が漂う中で、忘れかけていた「つながる」事の大切さと大事さに触れる事ができた時間となりました。職員は、名札や業務用携帯などにあのあの貼付けし、気づいた患者様に、丁寧に意図を説明する場面が増えています。



編集後記

ドクターへりからの受入れの要請を受けてから到着まで、あっという間で本当に驚きました。「時間との勝負」。救急医療の現場において、そういう場面は珍しくありません。新病院に新たに敷設したヘリポート。より広域から急患の受入れができるよう診療の充実に努めてまいります。

また、シトラスリボンの理念は「地域によりそう、やさしい医療」を提供するための気持ちを保たせてくれます。広報誌も、ひとつひとつの取り組みを丁寧に掲載してまいりますので、ご愛読宜しくお願い致します。

地域連携室／千葉 英二

2022年(令和4年)11月発行
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌
編集・発行：地域連携室
発行責任者：院長 佐野 憲
印 刷 所：モリタ印刷株式会社



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8

TEL: 022-771-5111(代表) FAX: 022-771-5100

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

●休診日につきましてはホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキを使用しています。